

北海道乳牛産地情報

(令和7年6月1日現在)

事務所	畜種	相場（万円）	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	28～38	横這い	札幌管内の5月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計で101.2%、累計で101.8%、苫小牧管内月計で99.9%、累計で99.3%の実績となっております。 6月の初妊牛動向といたしまして、8月下旬～9月下旬分娩が中心となります。道内需要が高く、相場は堅調に推移している状況を踏まえ、6月の動向としてもやや強含みで推移すると見込まれます。定期的に庭先購買を実施している地域でもありますので、F1腹、雌雄選別腹共に確保する事はできます。経産牛に関しても初妊牛同様、道内需要がありますので横這いで推移すると見込まれます。優良牛や高能力牛の多い地域でもありますので、ご希望がございましたらお問合せください。
	初妊牛	60～70	やや強含み	
	経産牛	40～50	横這い	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	30～40	横這い	根釧管内の5月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で103.0%、累計で103.3%、中標津管内月計で101.3%、累計で101.5%の実績となっております。 6月の初妊牛動向といたしまして、8月下旬～9月中旬分娩が中心となります。例年は需要の落ち込む夏分娩中心ではあるものの、乳価の引き上げや、乳牛資源が全体的に減少していることから、相場は底堅く、横這いで推移すると見込まれます。腹別において、依然としてF1腹の引き合いが強い傾向にあります。育成牛については、資源の少ない春から夏分娩が期待できる生まれ月の牛については引き合いが強く、横ばいで推移すると見込まれます。
	初妊牛	55～65	横這い	
	経産牛	38～48	横這い	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	32～42	横這い	帯広管内の5月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で103.0%、累計で103.5%の実績となっております。 6月の初妊牛動向といたしまして、8月下旬～9月中旬分娩が中心となります。例年需要が落ち込む夏分娩ですが、道内需要が高いことから、やや強含みで推移するもの見込まれます。腹別の資源状況につきまして、F1腹については出回りも多く、十分に確保できる状況ですが、雌雄選別腹については出回りが減少しております。経産牛について、産次数が少ない経産牛は、即戦力としても道内需要で引き合いが強く、相場は横ばいで推移すると見込まれます。育成牛について、資源の少なさから、夏分娩となる生まれ月の牛でも引き合いがあると見込まれます。
	初妊牛	60～70	やや強含み	
	経産牛	45～55	横這い	
道北管内	育成牛(10-12月令)	30～40	横這い	道北管内の5月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で98.9%、累計で98.7%、北見管内月計で101.7%、累計で101.9%の実績となっております。 6月の初妊牛動向といたしまして、8月下旬～9月中旬分娩が中心となります。今年の予報によると、例年並みに暑くなるという予報も出ている事から、夏分娩のリスクにより引き合いは弱まるという見方もある一方で、乳価の値上げがあることから、リスクと生乳生産を天秤にかけた動きになると見込まれ、相場は横ばいで推移するものと予想されます。経産牛の引き合いについては、即戦力の需要が道内高まっていることから、横這いに推移すると見込まれます。
	初妊牛	55～65	横這い	
	経産牛	38～48	横這い	
道内総括	育成牛(10-12月令)	32～42	横這い	道内の5月中旬までの生乳生産量前年比は101.7%、累計で102.0%の実績となっております。道内では、放牧も始まり、1番草の収穫時期となっています。 6月の初妊牛動向は、夏分娩中心の取引となっておりまいます。例年需要が落ち込む夏分娩の初妊牛ですが、夏からの乳価改定による導入意欲回復も見込まれ、道内需要の高まりにより、相場は堅調に推移すると見込まれます。腹別の資源状況としましてはF1腹の出回りは潤沢にあり、雌雄選別腹は若干資源不足となってきます。経産牛に関しては、即戦力としての引き合いが継続しており価格は横ばいで推移するものと見込まれます。弊社としましては、引き続き道内資源状況を確認しながら、ご希望にあった搾乳用素牛を供給していきますので、導入計画がございましたらお早目のご注文をよろしくお願いいたします。
	初妊牛	58～68	やや強含み	
	経産牛	40～50	横這い	

＊上記相場は、血統登録牛（中クラス）の庭先選畜購買による予想相場です。

全国酪農業協同組合連合会（全酪連）

庭先選畜購買のため、市場購買とは異なります。

札幌支所

☎011-241-0765

毎度、乳牛購買事業に大変ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
乳牛の導入計画がありましたら、最寄りの支所へご一報下さい。
担当者がお伺いし、最近の状況をご説明し、納得いただけるよう購買のお手伝いを致します。
また、購買後の輸送・事故処理は責任を持って最寄りの支所と札幌支所がお世話申し上げます。

《各事務所電話番号》

釧路事務所 ☎(0154)52-1232
根室駐在員事務所 ☎(0153)76-1877
帯広事務所 ☎(0155)37-6051
道北事務所 ☎(01654)2-2368